

厚生労働省科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））  
分担研究報告書

F-SOAIP を用いた記録システム(パイロット版)

研究代表者 上田敏丈 名古屋市立大学 大学院人間文化研究科 教授  
分担研究者 小嶋章吾 国際医療福祉大学 医療福祉学部 教授  
分担研究者 畠末憲子 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授  
研究協力者 中村聖子 大倉山元気の泉保育園 園長

研究要旨

本研究は、配慮や支援の必要な保護者の情報を共有するツール（パイロット版）を作成することである。

そのために、

(1)F-SOAIP を保育記録へ援用し有用性を検討すること（詳細は別紙資料）

(2)具体的菜データベースの構築すること

という2点を行った。

(1)保育記録への有用性の検討

本研究により、保育の記録に F-SOAIP を援用する有用性として、①項目による書きやすさ・教えやすさ、②実践の変化につながる「保育の循環的な過程」の意識化保育の循環的な過程のやりやすさ、③意図や願いを共有するという記録の意義の再認識の3点が明らかになった。

(2)F-SOAIP を用いた記録システムの作成

F-SOAIP に基づく記録システムの開発を行った。

A.研究目的

本研究は、配慮や支援の必要な保護者の情報を共有するツール（パイロット版）を作成することである。

そのために、

(1)F-SOAIP を保育記録へ援用し有用性を検討すること（詳細は別紙資料）

(2)具体的菜データベースの構築すること

という2点を行う。

F-SOAIP とは、医療・福祉領域において活用実績のある項目形式の経過記録法の一つであり、F-SOAIP 公式 HP によれば、「多職種協働によるミクロ・メゾ・マクロレベルの実践過程において、生活モデルの観点から、当事者ニーズや観察、支援の根拠、働きかけと当事者の反応等を、F-SOAIP の項目で可視化し、PDCA サイクルに多面的効果を生むリフレクティブな経過記録の方法

(Ver. 4, 2019 年 11 月)」と定義されている。

F-SOAIP は、次の 6 項目を使用する。① F: Focus (着眼点) ニーズ、気がかり等。タイトルのようにその場面を簡潔に表現する。② S: Subjective Data (主観的情報) 利用者 (キーパーソンを含む) の言葉。③ O: Objective Data (客観的情報) 観察・状態や他職種から得られた情報、環境・経過等。④ A: Assessment (アセスメント) 援助者 (記録者本人) の判断・解釈。気づきや考え。⑤ I: Intervention/ Implementation (介入・実施) 援助者 (記録者本人) の対応。支援、声かけ、連絡調整。⑥ P: Plan (計画) 当面の対応予定。

## B. 研究方法

### (1) 保育記録への有用性の検討

研究協力園は、横浜市内の認可保育所 O 園であり、研究対象は O 園の保育者 11 名 (主任 1 名, 担任 10 名) である。2021 年 1 月～2021 年 3 月に行った。

## C. 研究結果

### (1) 保育記録への有用性の検討

本研究により、保育の記録に F-SOAIP を採用する有用性として、①項目による書きやすさ・教えやすさ、②3-2. 実践の変化につながる「保育の循環的な過程」の意識化保育の循環的な過程のやりやすさ、③意図や願いを共有するという記録の意義の再認識の 3 点が明らかになった。詳細は別途資料を参照のこと。

### (2) F-SOAIP に基づく記録システムの開発

本記録システムの開発を行うに際して、

①F-SOAIP の項目に基づき簡便に記録が入力できること

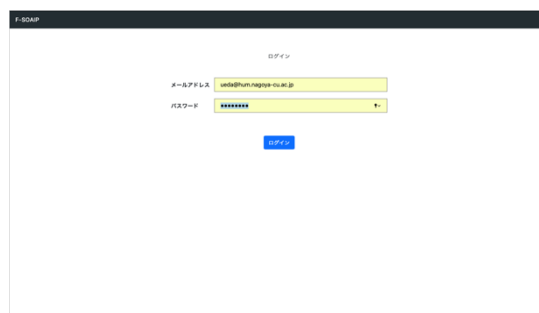
②安全性が担保できていること

③園ごとで活用ができること

④クラス単位・個人単位での視認性を高くすること

を前提として、システム開発を行った。

#### i. ログイン画面



ログイン画面はメールアドレスとパスワードによってログインする。

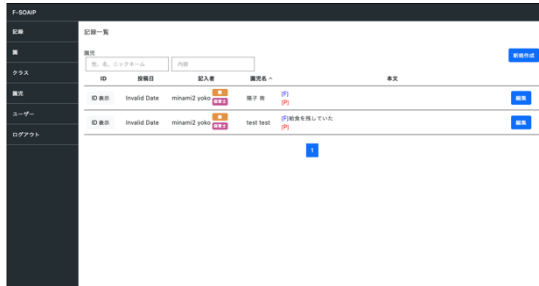
ログインは、個人のスマートフォンに Google Authenticator というアプリを取得し、電話番号と紐付けられたコードを入力することで可能となる。

#### ii. セキュリティ画面



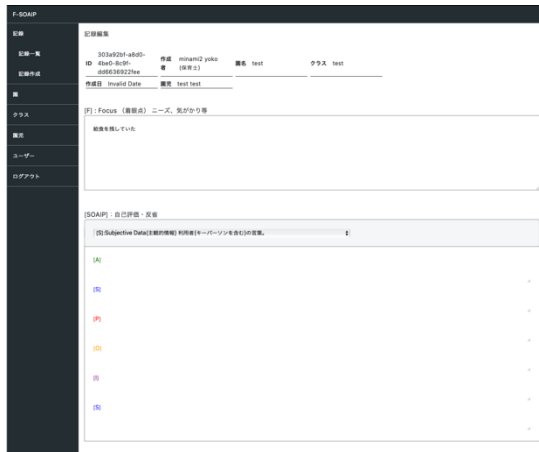
記録の一覧はiiiの通りである（画面はでも画面用のもの）。

### iii 記録一覧画面



記録の入力画面はivである。

### iv 入力画面



入力したデータをソートすることが可能である。

### v 園児一覧



### vi クラス一覧



また、本記録システムを活用するにあたってのマニュアルも作成した。

### vii マニュアル



#### D.考察

研究目的(1)から F-SOAIP の概念を保育記録に援用することで有用性が明らかになった。また、(1)で得られた知見から、(2)の F-SOAIP に基づく記録システムの開発を行うことができた。

今後、データを入力し、それぞれの園で活用した事例を元に、より効果的なシステム ( $\beta$  版) としたい。